

文芸

Japanese Poem of 31 syllables
Haiku Poem Comic Haiku*



短歌 (南船志布志短歌会)

どの家も鍵はしめない集落に紙飛行機とばす幼な子ひとり
漁を終え夕陽とともに帰り来る亡父の姿を写す秋の海
また一軒毀さる音のたへまなく細き裏道時代を変えゆく
日野原師老の手握り御徳の命与へてみまかり給ふ
吾が家も隣 隣も老婆なり姿見るなし雨降りやまづ
もの多く家具となりたる椅子一つ今日は慎み白きばら置く
ゆくりなく蘭の一鉢匂い立つ愛でいし君のとむらひの席
未枯れ行く朝顔の蔓にわれを置く誇りし後の姿哀しも
曾孫等のそれぞれの知恵にたくましく個性溢れる未来へ続く

暉峻 康瑞
池ノ上 二枝
川井田登志子
林 静子
平川 澄子
益倉 睦美
宮原 順子
山田 和子
山元ハツミ

川柳 (志布志川柳会)

高齢化 医療制度に おんぶされ
どこ行くも 薬がお供付いてくる
親子旅 母の病に 気づかされ
ゆったりと 自分サイズで 行く老後
北鮮へ 手出し談義 むつかしく
米国の 怖さを知らぬ 北の民
我が食へる 菜園だけは 無農薬

高田 昭秋
赤池 忠重
上東マキエ
江藤 房子
末永 一雄
高田 秀雄
内山 幸夫

短歌 (はなさい短歌会)

夕暮れの空はゆっくり降りてくる 散り始めたるツワなだめつつ
晩秋のすすきの原の黄昏は真昼の光り率いて暮れる
荒れ野にも黄色いつわの花が咲く自然の恵み幸せの里
生きてこそ楽し過疎の忘年会助け合いましよお隣近所
輪になって地球儀まわし和をもつて集えば誰も善人の顔
入り交じる言語が妙になつかしいトランジットのフランクフルト
夕暮れにせわしく囁く雀たち鳥の言葉の通訳はなしや
風吹けば仕舞い忘れの風鈴を鳴らして過ぎる人を恋う夜
遠近の友の訃報を聞く夕べ元気な我に感謝の合掌
折り込みのチラシずしりと重くありされど師走はなかなか売れぬ
ピクルスの熟成を待つ朝なさな粒コシヨウの赤は逆上がりする

南 史郎
篠原 順子
東郷ミイ子
内山 幸夫
江口さくら
篠田 紀子
渡辺クミ子
下戸富美子
江蔵 成子
中園 茂甚
西 恭子

～『志』・季・折・々～

市内の美しい風景や、歴史・文化を感じさせて

くれるもの等を写真で紹介いたします。

読者の皆様からの写真のご提供も、

お待ちしております。

【今月の1枚：蓬原熊野神社の神舞】